

(班長会の定足数等)

第22条 班長会には、第15条、第17条第1項及び第18条の規定を準用する。この場合において、これらの規定中「総会」とあるものは「班長会」と、「会員」とあるのは「監査役を除く役員」と読み替えるものとする。

(班会議)

第23条 班会議は班員をもって構成し、班長の下で運営される。

## 第5章 会計

(収入)

第24条 この会の収入は、次に掲げるものとする。

- (1) 会費
- (2) 交付金、補助金
- (3) 寄付金
- (4) その他の収入

(用途)

第25条 前条の収入は、この会の一般活動及び第3条の事業を行うための費用に充てる。

(会費)

第26条 会員は総会で別に定める会費を納入しなければならない。

(会計年度)

第27条 この会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(決算)

第28条 この会の決算の会計は、年度毎に監査役の監査を受け総会の承認を必要とする。

2 決算報告書には、監査終了の証明書を添付しなければならない。

(帳簿等の閲覧)

第29条 この会の記録及び会計簿は、会員の要求があれば随時公開するものとする。会員は会の諸帳簿に対して閲覧する権利を有する。

## 第6章 雑則

(補則)

第30条 この会則の施行に伴う必要な細目は、別に定める。

(移行期の特例)

第31条 この会則の施行移行期1年間は第10条の特例を認める。

付則

この会則は、平成11年4月18日より施行する。

この会則の施行によって既存会則は廃止する。

# 金 杉 町 会 防 災 部 会 規 約

## (名称)

第1条 この会は、金杉町会防災部会（以下「部会」という。）と称し、事務所は金杉会館内におく。

## (目的)

第2条 部会は、町会活動の一環として、住民の隣保共同の精神に基づく自主的な防災活動を行なうことにより、地震、火災、その他の災害（以下「災害」という）による被害の防止及び軽減を図ることを目的とする。

## (事業及び防災計画)

第3条 部会は、前条の目的を達成するため、防災計画を定め次の事業を行う。

- (1) 防災に関する知識の普及に関すること。
- (2) 地震に対する災害予防に関すること。
- (3) 地震等の発生時における情報の伝達、初期消火、救出救護、避難誘導等応急対策に関すること。
- (4) 防災訓練の実施に関すること。
- (5) 防災資機材等の備蓄、保守、管理に関すること。
- (6) その他部会の目的を達成するために必要な事項。

## (会員)

第4条 部会は、金杉町会会員をもって構成する。

## (役員)

第5条 部会に次の役員をおく。

部長 1 名、副部長 2 名、その他班長等の役員若干名。また、必要に応じ顧問を置くことが出来る。

## (役員を選出)

第6条 部長、副部長は原則それぞれ町会会長、町会副会長とし、各班長は町会班長の中からそれぞれ選出する。

第7条 部長は、部会を代表し、会務を統括し、地震等の発生時における応急活動の指揮命令を行う。

- 2 副部長は、部長を補佐し、部長に事故のあるときはその職務を代行するとともに、部会の会計を処理する。
- 3 班長は班務を行う。職務は別に定める。
- 4 その他の役員の職務は、別に定める。